



多視点同期と生体情報を兼ね備えた新たな映像フィードバックシステムの開発と実践利用

人間科学部 講師 清水 悠

近年では「GIGAスクール構想」により、子どもたち1人1人に対してICT端末が配布されています。体育授業や運動指導においても、体育教師や運動指導者はICT端末を駆使した運動指導が求められています。しかし、ICT端末のカメラで撮影した映像を学習者に視聴させるのみでは不十分で、例えば心拍数などの生体情報や試技内容と合わせて、技術課題を明確化させる必要があります。

このような課題に対して、清水研究室は新たな映像フィードバックシステムを開発しました。本システムでは、最大8画面までの映像をリアルタイム同期・保存することができるだけでなく、最大4画面までの映像を1つの画面内に表示することができます。さらに、遅延再生機能や多くの人と映像を共有する機能も持たせています。

本システムは、すでに2030年に開催される「島根かみあり国スポ」に向けた競技力向上のために活用されており、バドミントンやライフル射撃などの競技で実践利用されています。今後は、学校教育現場や地域住民の健康増進教室などにも活用の幅を広げていきたいと考えています。

